

〔Ⅲ〕 次の文章〔ア〕,〔イ〕を読み,設問に答えなさい。(50点)

〔文章ア〕

1929年10月,ニューヨーク株式市場での株価の暴落から,アメリカ合衆国は空前の恐慌におそわれた。工業生産の急落,企業の倒産,商業・貿易の不振が一挙にすすみ,銀行などの金融機関の閉鎖や倒産があいついだ。労働者の4人に1人が失業し,国民の生活水準は大きく低下した。

アメリカ合衆国では,フーヴァーが1932年の大統領選挙でやぶれ,(a) 党のフランクリン=ローズヴェルトが大統領に就任した。彼はまず政府資金を使って銀行を救済し,ニューディールとよばれる経済政策を推進した。同政策の下,経済への政府の介入を特徴とし,政府の統制のもとで企業に生産や価格の規制をさせて産業の回復をはかった(あ) や,農産物価格をひきあげるために農民に補償金を支払って生産を制限させた農業調整法(A A A) などが制定された。また,(い) は,失業救済事業と地域総合開発を組み合わせた計画として,注目を集めた。さらに労働者の団結権と団体交渉権を保障した(b) 法が1935年に制定された。これ以降,労働運動が活発化し,1938年には産業別組織会議(C I O) が結成された。国家が積極的に経済に介入して景気回復をはかる動きは,こんにちに至る修正資本主義の端緒となった。自由放任の経済にかわるこのような動きは,イギリスの経済学者(c) によって理論化された。

ローズヴェルト大統領は,外交面においてラテンアメリカ諸国との関係改善にも重点をおき,内政干渉政策を緩和する(う) 外交を開始し,1934年に成立した互惠通商協定法によって,とくにラテンアメリカ諸国との相互的関税引き下げによる貿易の拡大を実現した。さらに同年,キューバに対してその財政や外交を制限していた(d) 条項を廃止した。

世界経済の危機の下で主要国は,恐慌に対処する国際的なしくみを生み出せず,結局,輸入制限と関税を設けて自国と従属国地域の市場を外国に対して閉ざすこととなった。⁽²⁾イギリスは1932年に(e) でイギリス連邦経済会議を開き,それまでの自由貿易体制に終止符を打った。

設問1 アの文中の (a) ~ (e) に入る最も適切な語句を次の語群から一つ選び、番号を解答欄Ⅲ-Aのa~eに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| 1 ウイルソン | 2 オタワ | 3 共産 |
| 4 共和 | 5 キング | 6 ケインズ |
| 7 サン=シモン | 8 サンフランシスコ | 9 ハーディング |
| 10 ビスマルク | 11 プラット | 12 ブレトン=ウッズ |
| 13 ホイッグ | 14 ポーツマス | 15 マッキンリー |
| 16 マルサス | 17 民主 | 18 モンロー |
| 19 リカード | 20 ワゲナー | |

設問2 下線部(1)に関して、次のa~cの文のうち、恐慌の原因として正しい説明文はいくつあるか。次の1~4から1つ選び、番号を解答欄Ⅲ-Bに記入しなさい。

- a アメリカ合衆国では、第一次世界大戦中、戦場となったヨーロッパ向けに農産物が増産されたが、戦後需要が減少し、価格が低下、その結果農民の収入が減少した。
- b アメリカ合衆国では、アメリカ=メキシコ戦争、アメリカ=スペイン戦争（米西戦争）や棍棒外交といった一連の軍事力行使で軍事費が膨れあがった。
- c 世界最大の貿易国であるアメリカ合衆国は、保護貿易主義をとったので輸出がふるわなくなった。一方、国内の工業生産力は急増していたので、需要と供給のバランスが崩れた。

- 1 1つ 2 2つ 3 3つ 4 なし

設問3 (あ) に入る最も適切な法律名を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

設問4 (い) に入る最も適切な公社名を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

設問5 (う)に入る最も適切な語句を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

設問6 下線部(2)のような国際経済体制の名称を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

[文章イ]

ラテンアメリカ諸国では、アメリカ合衆国に発する恐慌の影響が激しく、社会が動揺して各地で政変がおき、民衆の伝統や情緒に直接訴え、政治改革を主張し、政策を遂行しようとするポピュリズム運動を基盤とした政権も成立した。ラテンアメリカを代表するポピュリズム政権であるメキシコの(f)大統領は土地を所有していなかった農民への農地の分配、労働組合の育成、外国石油企業の国有化などの政策にとりくんだ。また軍事クーデターによって権力を握った(g)のヴァルガス大統領の政権もラテンアメリカを代表するポピュリズム政権とされるが、工業化をおしすすめるとともに、労働者の福祉増進をはかった。

こうした世界恐慌を契機とした政治的な変容がみられたラテンアメリカに対して、アメリカ合衆国は第二次世界大戦以降も様々な関与を続けた。アメリカ合衆国資本と結びついたキューバの(h)政権に対し、1959年にカストロが指導する革命がおきた。カストロ政権は当初、アメリカ合衆国系企業を国有化しただけで社会主義路線はとらなかったが、次第に反革命軍を支援する合衆国との対立を深めた。61年にアメリカ合衆国がキューバの(え)輸入の停止などでカストロ政権の転覆をはかると、キューバはアメリカ合衆国と断交して、社会主義革命を宣言し、西半球における最初の社会主義国となった。(お)では、1970年にアジェンデが史上初の選挙による社会主義政権を樹立したが、73年に(i)の軍事クーデターによって倒された。この他、70年代には(g)、アルゼンチンなどの多くの国で軍事政権による支配がつづいた。

アメリカ合衆国は、ラテンアメリカ諸国の軍政が(j)の影響力におかれた共産主義勢力の拡大防止に役立つとみなし、独裁的であっても軍政への支持を続けた。しかし、1980年代にラテンアメリカ諸国の経済的困難が増すなか

で、各地で民主化や経済改革を求める動きが強まり、軍政をはなれて、より民主的な政治体制をとる国が増えてきた。また、1979年には中米のニカラグアでは左派のサンディニスタ民族解放戦線が勝利して左派政権が成立した。⁽⁵⁾グアテマラやエルサルバドルなどで長く続いてきた、右派や軍部などと左派の間の内戦も、1980年代にかけて、国連の仲介などによる平和条約の締結でおわりをむかえた。

設問7 イの文中の（ f ）～（ j ）に入る最も適切な語句を次の語群から一つ選び、番号を解答欄Ⅲ-Aのf～jに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|------------------|----------|-------------|
| 21 アルゼンチン | 22 カルデナス | 23 ゲバラ |
| 24 コスタリカ | 25 サパタ | 26 サン＝マルティン |
| 27 ソ連 | 28 チリ | 29 ディアス |
| 30 トゥサン＝ルヴェルチュール | | 31 バティスタ |
| 32 ハンガリー | 33 ピノチェト | 34 フアレス |
| 35 ブラジル | 36 ポトシ | 37 ポーランド |
| 38 マクシミリアン | 39 マデロ | 40 ヨーロッパ共同体 |

設問8 下線部(3)のようなポピュリズム運動の代表例として、反米的な民族主義や労働者保護政策などの社会改革を掲げ、1946年にアルゼンチンの大統領となった人物は誰か。解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

設問9 （ え ）に入るキューバの代表的な輸出産品名を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

設問10 （ お ）に入る国名を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

設問11 下線部(4)に関して、1980年代に起きたラテンアメリカの経済危機の直接的な原因として次の1～4から正しい説明文を一つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。

- 1 経済発展に向けて海外から借り入れた債務が累積した。
- 2 キューバ社会主義政権に対して、アメリカ合衆国が国交を断絶し対立が激化した。
- 3 ニクソン大統領がドルと金の交換停止を発表し、国際通貨体制が動揺した。
- 4 世界経済の中心がイギリスからアメリカ合衆国に交代した。

設問12 下線部(5)に関して、1979年に起きていない出来事はどれか。次の1～4から一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Bに記入しなさい。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 イラン革命 | 2 ソ連のアフガニスタン侵攻 |
| 3 米中国交正常化 | 4 ルワンダ内戦 |